

取扱説明書

FM TRANSMITTER

YS-2010MJ-E03-1SP

EIA-3Uラック
(6チャンネル XLRライン入力)
(6チャンネル ピークレベル表示器)



Ver. 1.00 2014, 03



株式会社 ラフアンドレディ

URL <http://www.randr.co.jp>

〒 158-0082 東京都世田谷区等々力6-40-10

Tel 03-3703-1211
Fax 03-3703-1215

1. はじめに

この度は、弊社FM送信機YS-2010MJ-E03-1SPをお買いあげ頂き、まことにありがとうございます。商品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書をお読み頂くようお願いいたします。

■ ご使用前に

1. この取扱説明書に従って操作してください。
2. 本機器は微弱電波対応となっています。環境条件に応じて出力レベルを調整してご使用下さい。(電波法施行規則第六条二項の範囲内でご使用下さい。)
3. 使用されていない周波数(地域により異なる)を良く確かめた上、本送信機の周波数設定を行って下さい。(隣接周波数は混信のおそれがありますので、なるべく離れた周波数を設定して下さい。)
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所や、高温になる場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用ください。屋外でご使用の時は雨などがかからないよう十分ご注意ください。
5. 信号入力には許容範囲を超える異常電圧は加えないでください。
6. ケースを開ける場合は電源コードを外してから行い、部品に触れぬよう取り扱いに十分注意してください。

■ 特 長

- 国内FM全周波数に対応したモノラル6チャンネルFM送信が可能です。
- 音声は、XLR平衡ライン入力各チャンネル1系統を装備しています。
- 送信出力は広範囲に可変出来ます。

■ 用 途

- 駐車場誘導システム
- 工場内ガイドシステム
- 多国語同時通訳システム
- 観光名所案内システム
- 各種イベント放送システム
- FM再放送システム

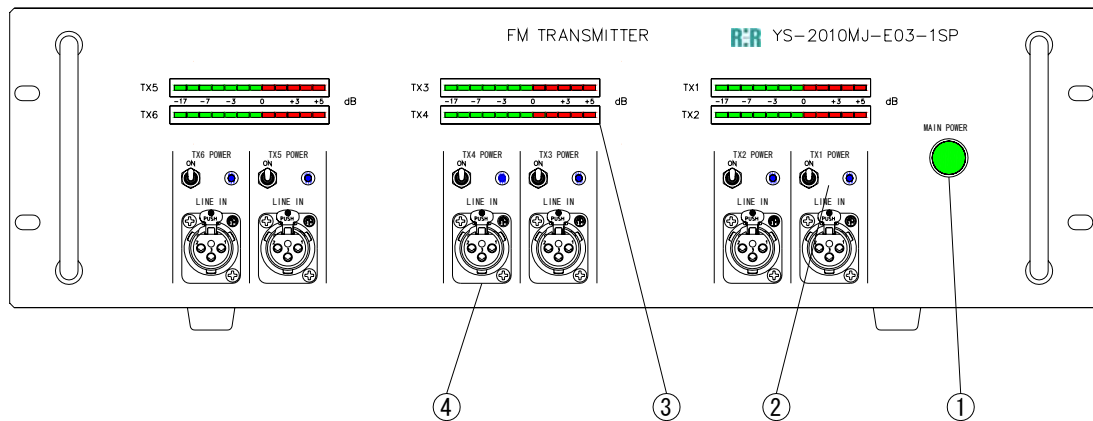
2. 構成

本ユニットは下記の構成となっています。ご確認のうえ御使用下さい。

No	品名	数量	規格等
1	YS-2010MJ-E03-1SP 本体	1台	EIA ラックマウント 3U タイプ
2	電源ケーブル	1本	3P AC コード 3m
3	電源プラグ変換アダプタ	1個	2P-3P 変換
4	アンテナ固定台	6個	磁石付き、BNC コネクタ
5	アンテナ	6本	8 段ロッド アンテナ
6	取扱説明書	1部	YS-2010MJ-E03-1SP 用

記. ハムノイズ^①が出る場合は、ケース (RF OUT コネクタの GND 側) をアースに落とすか、他の機器との接続の場合は、アース同士を接続すると改善されます。

3. 前面パネル説明



① メイン電源表示器

電源スイッチ（背面）がオンになると点灯（緑）します。

② 送信電源・表示器（各チャンネル共通）

各送信チャンネル毎の電源スイッチです。オンでLED（青）が点灯します。
電源オンのチャンネルが送信されます。

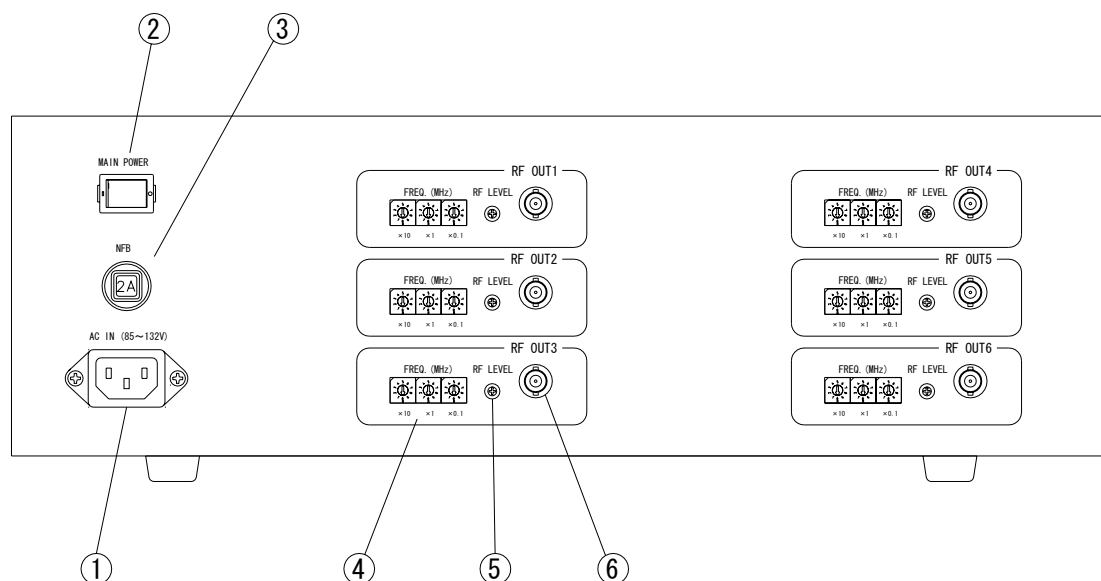
③ ピークレベル表示器（各チャンネル共通）

LINE入力0dBuで0dB表示をします。
このとき100%変調になります。

④ LINE 入力（各チャンネル共通）

インピーダンス600Ω平衡入力のライン入力です。
XLRプラグにて接続します。

4. 背面パネル説明



① AC IN (電源入力)

外部より電源を供給する端子です。附属品の AC 電源ケーブルを接続します。
AC85V~AC132V (AC100V) の電圧を加えます。

② POWER (電源スイッチ)

本機器の電源 ON/OFF を行います。

③ NFB (ブレーカー)

本機器の内部で異常な電流が流れた場合、NFB が異常電流を検出して本機器の電源を OFF にします。

電源スイッチを OFF にして、しばらく (約 1 分) して NFB を押して ON にして再度電源スイッチを ON にしてください。ブレーカーが再度 OFF になるようでしたら修理に出してください。

④ FREQUENCY 設定スイッチ (各チャンネル共通)

3 桁のデジタルスイッチで送信周波数の設定をします。75.0~90.0MHz の範囲で 0.1MHz ステップで設定が出来ます。

⑤ RF LEVEL 調整 (各チャンネル共通)

送信機の出カレベルの調整を行います。時計回転で出力レベルが大きくなります。

約 30 dB 可変出来ます。出荷時は最大レベルになっています。

⑥ RF OUT コネクタ (各チャンネル共通)

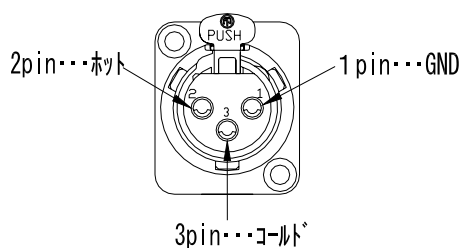
送信機の出カコネクタ (BNC レプタクル) です。アンテナ、ブースタ、漏洩 (開放) ケーブル等を接続します。接続ケーブルは同軸ケーブル (50Ω、75Ω どちらでも可能) を使用します。

5. 接続方法

- 1) 付属の AC ケーブルを本体（背面）AC IN ①に接続します。
- 2) 同軸ケーブルで、本体（背面）RF OUT⑥（使用チャンネル）にアンテナを接続します。
- 3) 本体（背面）Freq. ④で使用チャンネルの送信周波数を設定します。
- 4) 送信チャンネルの LINE 入力に送信音声を 3Pin XLR コネクタにて接続します。
- 5) 背面パネルの電源スイッチ②を押しすると電源 LED（前面）①が点灯して FM 送信機のメイン電源が入ります。
- 6) 送信するチャンネルの TX POWER スwitch を押しすると LINE 入力の音声を送信されます。

XLRコネクタ

本機器の LINE, MIC 入力は 3pin レジスタルで信号名は下記の図の通りです。
XLR3pin コネクタ オスで接続して下さい。

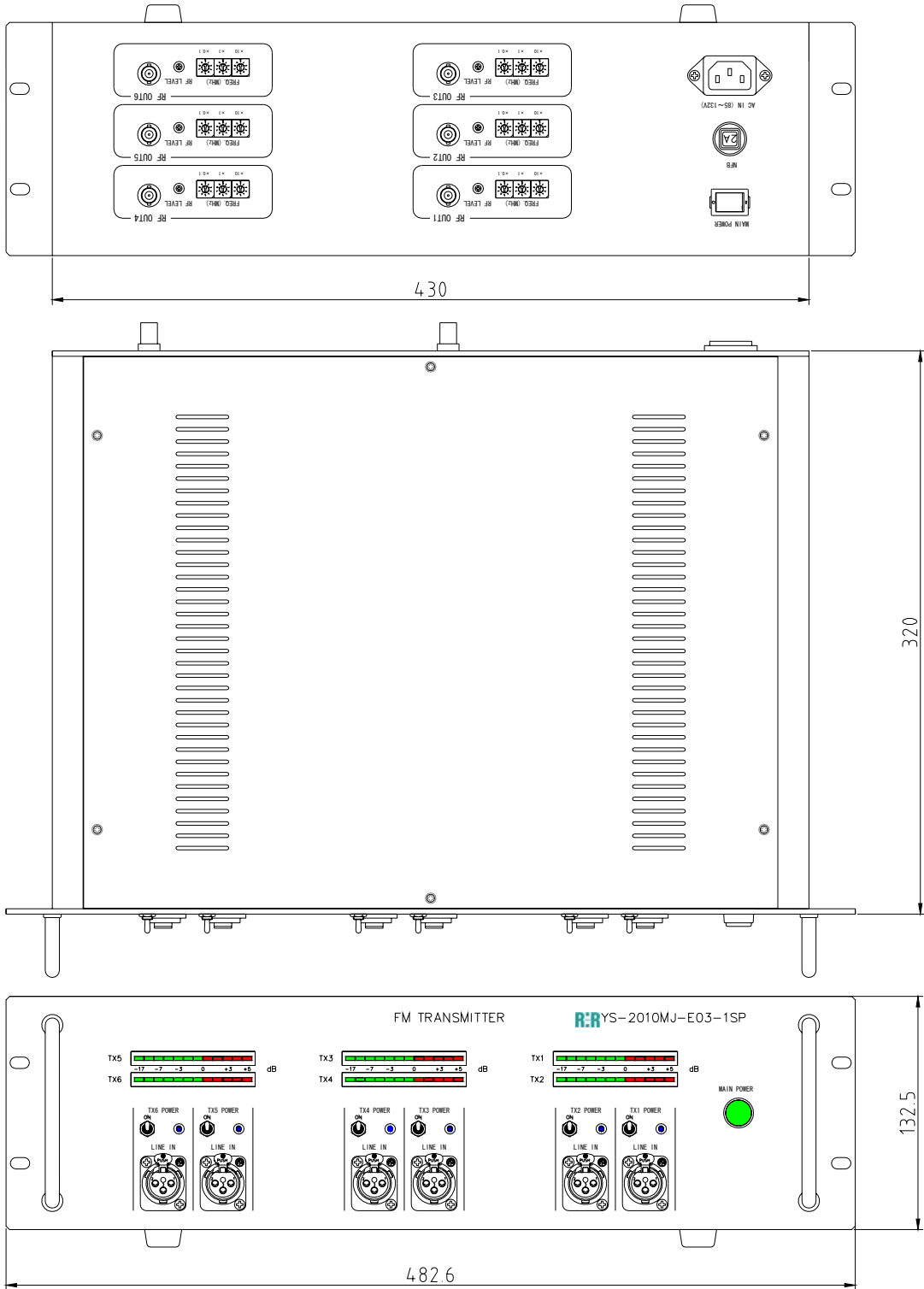


6. 製品規格

送信周波数	: 75.0MHz ~ 90.0MHz
送信チャンネル	: 6チャンネル (出力レベルは個別に設定可)
発振方式	: PLLシンセサイザー
周波数設定	: 3桁デジタルSW (100kHz step)
変調方式	: 周波数変調
送信出力レベル	: 約20mW (+13dBm)、約30dB連続可変
周波数確度	: ±3ppm以内 (@25°C)
高調波、スプリアス	: -60dBc以下
変調周波数帯域	: 30Hz ~ 15kHz (±0.3dB)
プリエンファシス	: 50μs
変調周波数偏移	: ±75kHz (100%)
S/N比	: 70dB TYP.
ライン入力	: 平衡600Ω (XLR) 0dBu入力 変調歪率 0.2% TYP.
外観寸法	: 482.6W×320D×132.5H (取付金具、突起物含まず) EIA-3Uラック
重量	: 約6.1kg (本体のみ)
供給電源	: AC85~132V、30VA
使用環境	: -10°C~+50°C 5%~90%RH (結露なきこと)

規格は予告なく変更する場合があります。

7. 外観図



8. アフターサービス

■ 製品の保証について

製品の保証期間は1年間で納入後1年以内に発生した故障については、無償で修理致します。ただし、この期間内においてもお客様の使用上の誤り、天災等による故障・損傷は無償修理の対象より除外させていただきます。

弊社にて製品N○を管理していますので、保証時には製品N○をお知らせ下さい。出張修理については保証期間に関わらず交通費、宿泊費は実費請求とさせていただきます。

製品名	FM送信機	YS-2010MJ-E03-1SP
ご購入年月日	製品番号	
201x . xx . xx	S/N xxxxxxxxxx	
お客様様	ふりがな	
	お名前	
	〒	TEL () —
	ご住所	
E-mail	@	

■ 製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問は弊社FM商品企画事業部までTEL、FAX、E-mailにてお申しつけ下さい。

株式会社 ラフアンドレディ

FM 商品企画事業部

URL <http://www.randr.co.jp/>

E-mail info2@randr.co.jp

〒158-0082

東京都世田谷区等々力6-40-10

ラフアンドレディビル

TEL 03-3703-1211 FAX 03-3703-1215